

これまで発行したGGKニュースの中から、改めてご紹介したい取り組み事例をまとめました！
 ※内容は掲載時点のものであることを予めご了承ください。

●校時表見直しの事例●

■事例1■

「午前5時間制」の実施

(GGKニュース令和4年度第7号より 福井市酒生小学校の事例)

▶午前 1単位時間40分×5コマ
 ▶午後 短時間学習25分×5日
学力向上

▶給食 15分後ろ倒し
 ▶昼休み 週2回:ロング昼休み
 “ゆとり+人間関係の広がり”

▶下校時刻
 ・5校時:14:30
 ・6校時:15:15

下校時刻のばらつき解消
 =児童の安心

放課後のゆとり
 =魅力ある授業づくり

○キーワード○

“児童の学力向上”と“働き方改革”の両立



40分授業で問題はないの？
 中学校とのギャップも大きそう…



給食の時間が遅いと、
 お腹がすいちゃうんじゃないかな…

●午後の短時間学習“スキルタイム”

漢字・音読・計算・タイピング等
 基礎学力の定着の時間

標準時数の不足分を
 計画的なスキルタイム活用で
 カバー可能

●早寝・早起き・朝ご飯

定着している児童は
 高い学力

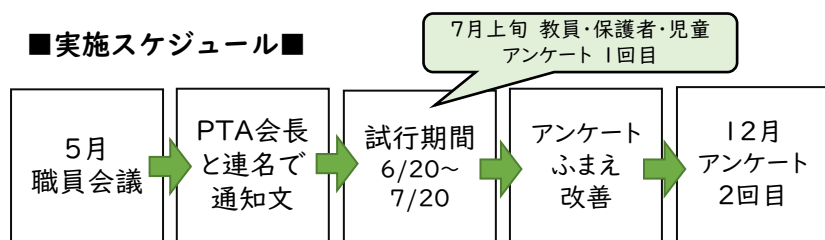
「朝食をしっかりとりてもらう」
 保護者へお願い

↳給食後ろ倒しによる授業中の集中力に影響するほどの空腹の心配はなし

●中学校の50分授業へ向けて

6年生:2~3月に50分授業練習期間を設定予定

■実施スケジュール■



R4校時表(10/31~)

	火・木	月・水・金
朝の会	8:10~ 8:20	8:10~ 8:20
1	8:20~ 9:00	8:20~ 9:00
2	9:10~ 9:50	9:10~ 9:50
3	10:00~10:40	10:00~10:40
大休み	10:40~10:55	10:40~10:55
4	10:55~11:35	10:55~11:35
5	11:45~12:25	11:45~12:25
給食	12:25~13:10	12:25~13:10
昼休み	13:10~13:40	13:10~13:30
そうじ		13:30~13:40
帰りの会	13:45~13:55	13:45~13:55
スキル	13:55~14:20	13:55~14:20
6	14:20~15:05	14:20~15:05
下校	5校時 14:30 6校時 15:15	

※バス…14:26 15:25

■事例2■

キーワード:年間を通じて主体性を伸ばす仕組み

(GGKニュース2023 VOL.11より 勝山市立勝山中部中学校の事例)

- ★毎日30分のプロジェクトタイム(PT)…「主体性を伸ばす」ことに焦点化 R4の週1回から拡大 (探究、委員会活動、集会(全校・学年)行事準備・練習、補充学習)
- ★45分授業…授業の質的改善およびPTの一部を補充学習に活用することで実現 (なお、1学期で欠けた授業は、雨天で日程のずれた中体連の大会の影響のみ)

曜	日	月	火~金
生	徒	玄	関開錠
		7:40	~
朝	読	書	
		8:00	~ 8:10
マ	イ	ノ	ート
		8:10	~ 8:20
朝	の	会	
		8:20	~ 8:30
1	校	時	
		8:40	~ 9:25
2	校	時	
		9:35	~ 10:20
3	校	時	
		10:30	~ 11:15
4	校	時	
		11:25	~ 12:10
給	食		
		12:10	~ 12:50
昼	休	み	
		12:50	~ 13:15
5	校	時	
		13:15	~ 14:00
6	校	時	
		なし	14:10 ~ 14:55
P	T	14:10 ~ 14:40	15:00 ~ 15:30
清	掃	なし	15:35 ~ 15:45
帰	り	の	会
		14:50 ~ 15:00	15:55 ~ 16:05
部	活	動	
		なし	16:10 ~ 17:40
完	全	下	校
		15:15	17:50

各教科担任の授業は、1~5校時

6校時は総合・学活・道徳
 プロジェクトタイムと連続した活用も可能

教員の主体性も大切に

割り振られた校務分掌の役割のなかで、「やりたいこと」「できること」をプロジェクト化して主体的に取り組む。

例)環境美化プロジェクト

「気持ちよく生活できる学校環境づくり」

「まずは用具の整備が必要！次に清掃方法を改善！」

- ① 施設員と清掃用具入れをメンテナンス
 - ② 雑巾のしぼり方・拭き方を各清掃班長へレクチャー
- ★目に見えてきれいになったことにより満足感UP
 ★声をかけてもらえて自己肯定感UP

■事例3■

キーワード:生徒も教職員も

自分の時間を自分でコントロールできるひとに。

(GGKニュース2023 VOL.5より 福井市川西中学校の事例)

教職員の勤務時間 8:05~16:35

生徒の安全確保のため滞在時間を合わせる 朝の会開始=勤務開始

曜	日	火・木	水	月・金
登	校	7:45	~	8:00
課	題	8:00	~	8:05
朝	の	会	8:05	~ 8:15
1	限	8:20	~	9:10
2	限	9:20	~	10:10
3	限	10:20	~	11:10
4	限	11:20	~	12:10
給	食	12:15	~	12:50
昼	休	み	12:50~13:00	12:50~13:10
清	掃	13:00~13:10	なし(ロング昼休み)	12:50~13:10
5	限	13:15~14:05	13:15~14:05	13:15~14:05
6	限	14:15~15:05	なし	14:15~15:05
帰	り	の	会	15:10~15:20
		15:10~15:20	14:10~14:20	15:10~15:20
下	校	15:25	14:25	15:25
諸	活	動	①15:25~16:25 ②15:25~16:45	①15:25~16:25 ②15:25~16:45
		①16:35	14:45~15:45 諸会議	①16:35
完	全	下	校	②16:55
		②16:55	(水)福井市 ノ一残業デー	②16:55

・週ごとに会議の種類を予め設定⇒準備をしやすく時間を有効活用できる
 ・原則ペーパーレスで実施

月・水・金:清掃なし「ロング昼休み」

- ①雑談や面談、学習の質問
- ②委員会ミーティング
- ③じっくり図書室
- ④がつつり体育館(学年ごと曜日設定)
- ⑤ALTと会話(クラスごと順番)

週2回の清掃でもきれいな教室環境を保つには…
 生徒一人ひとりの日ごろからの心がけが大切

一人ひとりが主体的に
 「やりたいこと」「やるべきこと」を考えて
 有効活用できる20分間



部活動の見直し

★R5年度~「全員部活動加入制」の廃止

小規模校は部活動の選択肢が少なく、可能性を狭めてしまう。加入が任意なら小学校からの習い事を継続できたり、地域スポーツクラブで中体連の大会に出ることも可能

★部活動の時間は原則60分間(①)勤務時間内で完全下校

※生徒と顧問が希望する部活動は、昨年度と同じ1時間20分間(②)で実施
 日の入りの時刻や、万が一のケガへの対応等、生徒の安心・安全を最優先

●教職員の主体性を重視した事例●

■事例1■

キーワード:「自主研究」でGGK

(GGKニュース2023 VOL.6より 大野市有終南小学校の事例)

「トップダウンではないGGKを」ということで、一人ひとりの教職員が主体的に取り組めるよう、「自主研究サークル」でGGKを進めるプロジェクトが存在します。アイデアは企画委員会を経て職員会議にかけられます。

南すりむ君プロジェクト

事務職員をリーダーとした公認自主研究サークル



プロジェクトメンバー

若手の教諭を中心とした挙手制
教頭や栄養教諭も参加 計7名

月1回程度の会議

「これは無理かな？」と思うものでもOK
自由に意見を出しやすい運営・ジャムボード活用
★文科省のチェックシートを参考に取組・振り返り・改善

企画委員会 ⇒ 職員会議

開始当初は、なるべくアイデアを採用
⇒プロジェクトメンバーの効力感UP
難しいアイデアも基本的には前向きに検討
信頼関係ができていて、プロジェクトメンバーと議論をすすめやすい。

これまでに取り組んだ改善例(一部)

- 【ICT活用】・保護者からの欠席連絡(Google form)・会議等の資料PDF化・破損個所の写真共有 等
- 【日常的な業務】・窓開け閉め担当の学年エリア制(日直の負担軽減)・月2回定時退庁デー(マグネットで予定表示)
・行事黑板⇒職員室に大型モニター設置 週時程2日分を画面表示・朝の連絡:タブレットへ
- 【環境整備】・物品の見える化(吊戸棚の戸の撤去)・必要な備品を追加(カードリーダーや延長コード)
・文科省事例集より横浜市・日枝小学校の例を参考に職員室の環境整備

■事例2■

キーワード:“チーム力”を高めてGGK

(GGKニュース2023 VOL.9より 越前市岡本小学校の事例)

課題の抽出

児童アンケートの結果から

- ◎ 学校がたのしい up
- ◎ 授業がよくわかる up
- △ 主体性・・・ hot

授業づくり

R4のテーマ
「学びを楽しもう」の成果

R5のテーマ
「自分たちでやってみよう」

GGKのポイント

放課後の時間の確保

- ・主体的で対話的な学びの実現
- ・事務処理等を勤務時間内に行えるようにして、退勤時間を早める

■事例3■

キーワード: GGKでミドルリーダー育成

(GGKニュース2023 VOL.11より 福井市日之出小学校の事例)

- ①勤務時間帯(教職員から出てきた課題)
- ②低学年週時間数削減(市校長会で出てきた課題)
- ③GIGA計画(現場で直面している課題)
- ④行事関連時数削減(さらに進める課題)

4つの課題

4人をチームに指名し、課題を割り当て。チームは教職員の考えを取りまとめることからスタート。(R3夏)現状の分析、目指すゴールや、アイデアのメリット・デメリットを検証し、次年度へ向けた提言を年度末までに実施。

1人ひとりが主体的に考える強い組織へ⇒全員が納得感をもってGGKを推進

- ・核として発言行動をしてくれている。
・よく課題に気づいて発言しているなあ。
・管理職志望を叶えられるよう育成しよう!
・校務分掌にもっと自信を持ってほしい!

4人のミドルリーダー

①勤務時間帯

課題:児童の登校時間が勤務開始時間より早い
フレックスタイム制や登校時刻繰り下げなど検討

③GIGA計画

授業でのタブレット活用、持ち帰り準備、格差解消
研修を実施・各学年ごとの活用のゴールを提案

④行事関連時数削減

学校の体育大会と区民体育大会を合同開催できないか?
熱中症リスクや準備、練習の時間的負担
協力的な地域の方に小学校の取組を見てもらおうチャンス
⇒体育協会との連携などの課題を検証し実現へ

最初に考えを取りまとめているので提言が受け入れられやすい
実施に当たってはPTA・地域の理解のために丁寧な説明も重要

②低学年週時間数削減

▶6校時カットの「業務改善日」:「放課後時間の生み出し」が目的だが、低学年担任は放課後時間への影響が無かった
⇒余剰時間の多い低学年の授業時数を最初から削減し、業務推進時間を確保するねらい
1学期の国語の削減を提言し、週1回下校時刻の繰り上げ実施へ

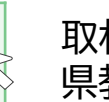
下校時刻	月	火	水	木	金
1年	2:15	2:40	2:15	2:40	1:50(1学期) 2:40(2学期)
2年	2:15	2:40	2:15(1学期) 3:10(2学期)	2:40	2:40

夏休みの期間を使って働き方改革の研修実施
“Well-beingな生き方”“持続可能な働き方”
“7時間45分内の業務遂行”

- ★文科省教員勤務実態調査速報値を活用した実態把握
- ★グループワーク 理想とする働き方、生き方は?等

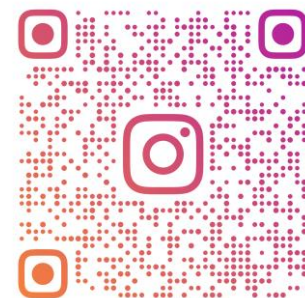
改めて「令和6年度 学校の業務改善」もご確認ください!

福井県 教職員 働き方



取材、伴走・支援のための訪問等のご要望は、
県教育庁教職員課学校業務改善グループまでお寄せください!

教職員課instagram



ふくいで先生 魅力的やぞ
@kyousyoku.f